

2017年フォーラムゲスト一覧 (敬称略・五十音順)



東 大史
一般社団法人村楽理事 /
REBIRTH PROJECT
地域再生プロデューサー



今西 建太
株式会社デアライブ
代表取締役・CEO



浦田 修伍
フリーランスデザイナー



大宮 透
一般社団法人小布施まち
イノベーション HUB
事務局長 /
株式会社信濃学会代表



喜多 恒介
慶應義塾大学
政策・メディア研究科
修士課程 2 年



小林 亮介
一般社団法人 HLAB
代表理事



坂野 晶
特定非営利活動法人ゼ
ロ・ウェイストアカデ
ミー 理事長



里岡 美津奈
オフィス L.I.B 代表
(個人事業主)
パーソナルクオリティ
コンサルタント
(ビジネスコーチ)



塩澤 耕平
小布施ハウスホクサイ
管理人 /
カフェ起業準備中



島田 由香
ユニリーバ 人事部



高田 修太
一般社団法人 HLAB
事業開発ディレクター



田島 和彦
割烹 TAJIMA 料理長



徐 東輝
司法修習生 /
NPO 法人 Mielka 代表



中込 孝規
「世界とつながるダンス
教室」代表



西野 史子
一橋大学 大学院社会学研
究科・社会学部
准教授



藤岡 雅美
経済産業省
産業人材政策室



藤川 佳則
一橋大学大学院
国際企業戦略研究科
准教授



**Rodney Van
Meter**
慶應義塾大学
環境情報学部 准教授



宮澤 正憲
博報堂ブランド・イノ
ベーションデザイン代表
/
東京大学 教養学部附属
教養教育高度化機構
特任教授



フォーラム (敬称略)

テクノロジー、教育、法曹、工学、データサイエンス、等々様々な分野で日本社会を先導し続けるスピーカーの方をお呼びし、「今高校生に伝えたいこと」をテーマに講演と質疑応答が行われました。自身のライフストーリーや高校生への問題提起など刺激的なお話を伺うことができました。スピーカーの方の熱意を持って話すことのできる話題に触れることで、高校生が自身の視野を広げるとともに、将来について考える契機となることを目的としております。

スピーカーの方のご講演の後はモデレーターを介したパネルディスカッションや質疑応答の時間をとることにより、高校生とスピーカーとの双方向的な対話の機会を設け、高校生の考えを深めることを意識しました。英語が苦手な高校生のために同時通訳を行う日本人メンターや、積極的に質問をする海外メンターの様子も見られ、各アクターが一体となった場が創出されました。

HLAB TOKYO 2017

島田 由香

日時 / 8月15日 (火)

場所 / ARK HILLS CLUB

島田様の現職に至った経緯や現在取り組んでいる内容についてお話しいただいた後、高校生へのメッセージとして、「どのように生きていくか」という内容にてお話しいただきました。その後の質疑応答では、高校生から日英問わず多くの質問が飛び交い、活気ある刺激の多い時間となりました。



藤川 佳則

日時 / 8月17日 (木)

場所 / アカデミーヒルズ

「デジタル・ディストラクション：価値づくりの未来」をテーマに、2011年度にもお越しいただいた藤川様にご講演いただきました。デジタル技術の革新によって新しい産業革命が進行しつつある中、その激しい環境変化における新たな「価値作り」や未来の捉え方について、お話しいただいた後、その未来の課題や新たな機会について、高校生は各々の質問を通じて理解を深めている様子でした。



HLAB OBUSE 2017

大宮 透

日時 / 8月16日 (水)

場所 / 北斎ホール

小布施町の主任研究員として、どのような活動をされているのかをお話しいただきました。大宮様には、小布施町でHLABを開催する上で多大なるご協力をいただいています。どのようにして小布施と出会い、なぜここでHLABを開催するに至ったのか説明していただきました。最後に、ご自身の体験談も交えながら、「自分自身のことを深く知る」ことでよりよく生きることができる、とのメッセージをいただきました。

喜多 恒介

日時 / 8月16日 (水)

場所 / 北斎ホール

喜多様は現在、大学院生、起業家、経営者など、様々な場所で活躍されていますが、それらの行動の根底には、人と人とのつながりで社会をより良くしたいという気持ちがあるとおっしゃっていました。そのために幾つもの団体を立ち上げ、今までで1万人もの学生と会ってきています。「成果を出せるまでは長い時間がかかるため、今から目標に対し努力をするべき。今は全力を出して色々な世界を見よう」とアドバイスされていました。



HLAB OBUSE 2017

小林 亮介

日時／ 8月16日 (水)

場所／ 北斎ホール

HLAB を立ち上げた経緯、そして HLAB の理念についてお話していただきました。その中で高校生に伝えてくださったメッセージは「Don't Look for a Manual (マニュアルを探さないで、やる)」そして「Live the Current, not Future(未来でなく、今を生きる)」。また、今後の寮事業など HLAB の今後の構想についてのお話もしていただきました。

中込 孝規

日時／ 8月16日 (水)

場所／ 北斎ホール

中込様のスピーチは、会場全体でダンスをするところから始まりました。そして、かつては後ろ向きだった性格が、大学で徐々に変わっていく様子をお話いただきました。「世界一周をする」という夢を実現しようと、ベネッセコーポレーションを4年で退職し、1年半で18カ国57都市を周りながら、1万人以上の子供とダンスを踊りました。各地で撮った写真やビデオを見ながら、世界中の人々と向き合ってきた体験談や、「自分のやりたいこと、好きなこと」をしながら生きていくための心構えなどについてお話していただきました。

Rodney Van Meter

日時／ 8月16日 (水)

場所／ 北斎ホール

バンミーター先生には、はじめに量子コンピューターの仕組みを、縄や模型を使って実演し、分かりやすく説明していただきました。いつも「研究者」「学ぶ人」「教える人」3つの活動を行っており、線引きをすることはできないとのことでした。スピーチの中で、研究者としての姿だけでなく、家族や友人たちと共に過ごす「私生活」の姿も紹介されました。私生活は仕事以上に大事であるとおっしゃっている様子が印象的でした。

塩澤 耕平

日時／ 8月16日 (水)

場所／ 北斎ホール

テーマは「夢を自分で決めること」。ご自身がヘルスケアの世界から、地元長野でのシェアオフィスやカフェ経営へと進路転換なさった経緯とともにお話いただきました。夢が見つからない、いざ夢に進もうとすると周りの人と衝突してしまう。そんな誰しも一度はぶつかるであろう状況に寄り添い、励ましてくれるスピーチに高校生は大いに励まされたようです。

西野 史子

日時／ 8月16日 (水)

場所／ 北斎ホール

ご自身がハーバード大学ライシャワー記念日本研究所で在外研究をなさった経験を元に、日米の雇用形態や教育環境の違いについてお話いただきました。また家庭とご自身のキャリアを両立なさっている先生から、これから社会に踏み出す女性への力強いメッセージもいただきました。高校生が大学での学びの世界へ踏み出す、よい機会となったようです。



フォーラム (敬称略)

HLAB TOKUSHIMA 2017

浦田 修伍, 高田 修太, 田島 和彦

日時 / 8月18日 (金)

場所 / 牟岐町海の総合文化センター

浦田様のコーディネートによる、全く異なる分野で活躍する新進気鋭のゲストによるフォーラムが実現されました。法人スタッフの高田がファシリテーターを務め、まずはゲストそれぞれの高校時代の進路選択の話や、自分が熱意を持って取り組んできたこと、「プロフェッショナル」として仕事に臨むことの意義などのお話を伺いました。後半は、高校生が少人数のグループに分かれ、それぞれのグループで登壇者の方に自由に質問できるトークセッションを設け、登壇者の方々の思いに直接触れることのできる貴重な機会となりました。



東 大史

日時 / 8月20日 (日)

場所 / 牟岐町海の総合文化センター

ひとつのビジネスに依存せず、多方面でキャリアを築くパラレルワークの実践者である東大史様にご登壇いただきました。東様は徳島県内の地方創生事業に携われたご経験をお持ちでもあり、講演ではこれまで地方創生に携わられてきた理由や、婚活と町おこしを組み合わせせたイベントといったユニークな事業を起こすことを通して学んだ人生の教訓などについてお話しいただきました。高校生にとっては、自分のやりたいことや好きなことを追求する大切さや、文系・理系に限らず人生には多様な選択肢があることに気づく良い時間となりました。



HLAB MIYAGI-ONAGAWA 2017

里岡 美津奈

日時 / 8月18日 (金)

場所 / 女川まちなか交流館ホール

「夢」や「やりたいこと」を見つけるための手段として「自分が“ご機嫌”でいられるにはどうすればいいか?を考える」という考え方についてお話しいただきました。また「スーパーCA」と呼ばれる程の自身の功績に対し、特別な才能や飛び抜けた能力によるものではないと説明した上で、大事なものは「体調や周りの状況に関わらずいつも同じパフォーマンスを続ける」事であるというメッセージをお伝えいただきました。



宮澤 正憲

日時 / 8月18日 (金)

場所 / 女川まちなか交流館ホール

日頃よりキャリア教育に携わっていらっしゃるご経験に基づき、「夢」や「やりたいこと」の見つけ方についてお話しいただきました。特に夢ややりたいことが見つからずに迷う高校生に対し、キャリアの歩み方には「表参道と裏参道」の2通りがあると述べた上で、「広告会社なのにキャリア教育」の様に「“なのに”を味方に」というメッセージを伝えていただきました。

